

**令和 8 年熊本地震に係る
第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議
第 2 4 回熊本県災害対策本部会議**

日時：令和 8 年 8 月 1 7 日（月）16：00～
会場：県庁防災センター2階 201会議室
（災害対策本部会議室）

次 第

1 今後の気象の見通し（熊本地方気象台）

2 国・県・関係機関からの報告

（報告順）

県関係部局→国関係機関→関係機関

3 災害対策本部長コメント

4 現地対策本部長コメント

※次回の合同会議は8月19日（水）16：00～

- 7/28(火) 16:27 地震発生
16:27 災害対策本部設置
緊急消防援助隊 (消防庁から関係県へ出動要請)
17:30 自衛隊への災害派遣要請 (発災直後から派遣調整を開始)
19:00 災害援助法適用(熊本市含む21市町村)
政府非常災害対策本部設置
- 7/29(水) 津島内閣府副大臣同席の上、被災7市町長と意見交換
- 7/30(木) 政府非常災害現地対策本部設置
- 8/4(火) 被災8市町長との意見交換
- 8/7(金) 政府において激甚災害(本激)及び特定非常災害に指定することを決定
- 8/10(月) 県内全市町村について被災者生活再建支援法の適用を決定

	7/28(火)	7/29(水)	7/30(木)	7/31(金)	8/1(土)	8/2(日)	8/3(月)	8/4(火)	8/5(水)	8/6(木)
熊本県災害対策本部会議	第1回	第2回 第3回 第4回	第5回 第6回	第7回 第8回	第9回 第10回	第11回 第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
政府非常災害現地対策本部会議				第1回	第2回 第3回	第4回 第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
	8/7(金)	8/8(土)	8/9(日)	8/10(月)	8/11(火)	8/12(水)	8/13(木)	8/14(金)	8/15(土)	8/17(月)
熊本県災害対策本部会議	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回		第23回	第24回
政府非常災害現地対策本部会議	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回		第16回	第17回

令和8年熊本地震に係る
第17回政府非常災害現地対策本部会議
第24回熊本県災害対策本部会議

【知事公室 危機管理防災局】
R8.8.17（月）14:00時点

【人的被害・住家被害】

○ 人的被害：**396名**

うち死亡： 39名（①＋②＋③）

①災害起因死者（市町村が災害が原因で死亡したことを確認した死者） 36名

②災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡した可能性のある死者 1名
※正式には市町村に設置される審査会を経て決定

③災害との関連を調査中の死者 2名

- ・ 日本製紙八代工場にて、閉じ込められた11名全員の救助完了（うち9名は死亡）
- ・ イオンモール熊本にて、12名救助し、うち5名は軽症、7名は死亡 ※救助活動終了

○ 住家被害：**31,951棟** ※推計値を含むものであり、今後修正が入る可能性あり。

＜内訳＞全壊 **1,449棟**／大規模半壊 **72棟**／半壊 **1,268棟**／一部破損 **12,295棟**／分類未確定 **16,867棟**

【住家被害認定調査進捗状況・罹災証明書交付状況（R8.8.11時点）】 ※週1回更新予定

○交付申請件数（一次調査＋二次調査）(a)：30,310件

○調査実施件数（一次調査＋二次調査）(b)：11,506件

○罹災証明書交付件数 (c)：4,797件

調査率(b/a)：38.0% 交付率(c/a)：15.8%

○申請があっている市町村数：38市町村

- ・ 8月中に一次調査が完了する見込みの市町村数：29市町村
- ・ 9月上旬までに一次調査が完了する見込みの市町村数：9市町 ※詳細は別紙のとおり

住家被害に伴う罹災証明書の交付申請受付件数等の状況

【 市町村報告の取りまとめ ／ 令和８年（２０２６年）８月１１日までの累計処理件数 】

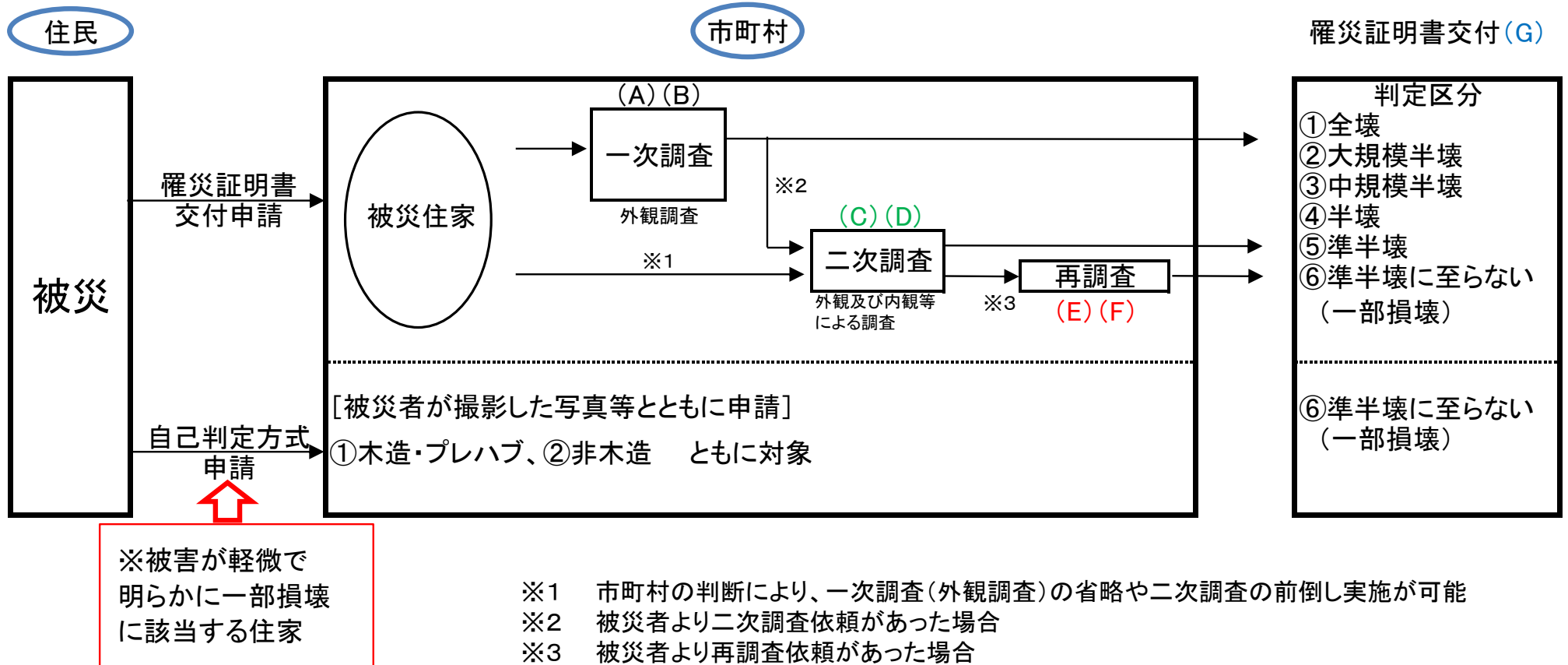
速報値

(単位：件)

市町村名	住家被害認定調査							罹災証明書交付件数（G=①+②+③+④+⑤+⑥）							調査開始日	罹災証明書交付開始日	一次調査の完了予定日 （概ね）	備 考
	一次調査			二次調査		再調査		証 明 書 交 付 総 数 （G）	罹災区分別内訳									
	申請件数 （A）	実施件数 （B）	（B）の内 申請があった 件数	申請件数 （C）	実施件数 （D）	申請件数 （E）	実施件数 （F）		全 壊 ①	大 規 模 壊 ②	中 規 模 壊 ③	半 壊 ④	準半壊 ⑤	準半壊に至らない （一部損壊） ⑥				
熊本市	8,897	4,846	2,996	0	0	0	0	2,682	0	0	0	1	7	2,674	2026/7/31	2026/7/30	8月末	
宇土市	4,070	1,325	1,325	0	0	0	0	1,138	0	0	0	0	0	1,138	2026/8/3	2026/7/30	9月上旬	非住家を含む
宇城市	5,707	551	551	0	0	0	0	75	0	0	0	0	0	75	2026/8/4	2026/7/31	9月上旬	
美里町	797	164	164	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2026/7/31	2026/8/12	9月上旬	
宇城管内計	10,574	2,040	2,040	0	0	0	0	1,215	2	0	0	0	0	1,213				
荒尾市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/20	調整中	8月末	
玉名市	24	22	22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/7/29	2026/8/5	8月末	
玉東町	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/7	調整中	9月上旬	
和水町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/12	2026/8/12	8月末	
南関町	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/8/2	2026/8/2	2026/8/7	
長洲町	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/10	調整中	8月末	
玉名管内計	36	28	28	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2				
山鹿市	6	5	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	2026/8/2	2026/8/10	8月末	
鹿本管内計	6	5	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5				
菊池市	71	60	60	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	42	2026/8/4	2026/8/5	9月上旬	
合志市	150	89	89	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	85	2026/8/10	2026/8/4	8月末	
大津町	80	0	0	70	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/10	2026/8/12	8月末	
菊陽町	313	277	277	1	1	0	0	277	0	0	0	2	7	268	2026/8/3	2026/7/31	8月末	
菊池管内計	614	426	426	71	2	0	0	404	0	0	0	2	7	395				
阿蘇市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
南小国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
小国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
産山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
高森町	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/7/31	2026/7/31	8月末	
南阿蘇村	9	9	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	2026/7/30	2026/7/30	8月末	
西原村	35	25	25	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	20	2026/8/6	2026/7/30	8月末	
阿蘇管内計	47	35	35	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	30				
御船町	1,517	432	432	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/6	調整中	8月末	非住家を含む
嘉島町	180	120	120	108	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/9	2026/8/14	8月末	
益城町	2,523	318	318	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	2026/8/3	2026/8/11	9月上旬	
甲佐町	1,077	279	279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/3	調整中	9月上旬	
山都町	37	20	20	0	0	0	0	18	0	0	0	0	1	17	2026/7/31	2026/8/3	8月末	
上益城管内計	5,334	1,169	1,169	108	2	0	0	28	10	0	0	0	1	17				
八代市	3,250	874	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/6	調整中	9月上旬	
氷川町	144	1,382	144	6	0	0	0	138	86	4	2	14	11	21	2026/8/6	2026/8/8	9月上旬	非住家を含む
八代管内計	3,394	2,256	144	6	0	0	0	138	86	4	2	14	11	21				
水俣市	77	50	50	0	0	0	0	20	0	0	0	0	6	14	2026/7/31	2026/8/5	8月末	
芦北町	486	341	341	0	0	0	0	102	0	0	0	0	0	102	2026/8/7	2026/8/12	2026/8/17	
津奈木町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/7	2026/8/10	2026/8/28	非住家を含む
芦北管内計	573	391	391	0	0	0	0	122	0	0	0	0	6	116				
人吉市	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/7/31	2026/8/17	8月末	
錦町	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/7/31	2026/8/4	8月末	
あさぎり町	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/7/31	調整中	8月末	
多良木町	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/8/3	2026/8/5	2026/8/10	
湯前町	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2026/8/10	2026/8/12	2026/8/10	
水上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
相良村	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/7	調整中	8月末	
五木村	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/7/29	2026/7/30	2026/8/7	
山江村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
球磨村	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/7/29	2026/8/3	2026/8/14	
球磨管内計	24	23	23	2	2	0	0	3	0	0	0	0	0	3				
天草市	136	112	112	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2026/8/4	2026/8/12	2026/8/28	
上天草市	473	168	168	0	0	0	0	168	0	0	0	0	0	168	2026/7/29	2026/7/29	8月末	
苓北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	
天草管内計	609	280	280	14	1	0	0	168	0	0	0	0	0	168				
合計	30,108	11,499	7,537	202	7	0	0	4,797	98	4	2	17	32	4,644				

※ 住家被害認定調査（一次調査）の実施件数には、写真によるものも含まれます。そのため、調査開始日より罹災証明書交付開始日が早い場合もあります。
また、各件数は、現段階での取りまとめの数値であって、確定値ではありません。

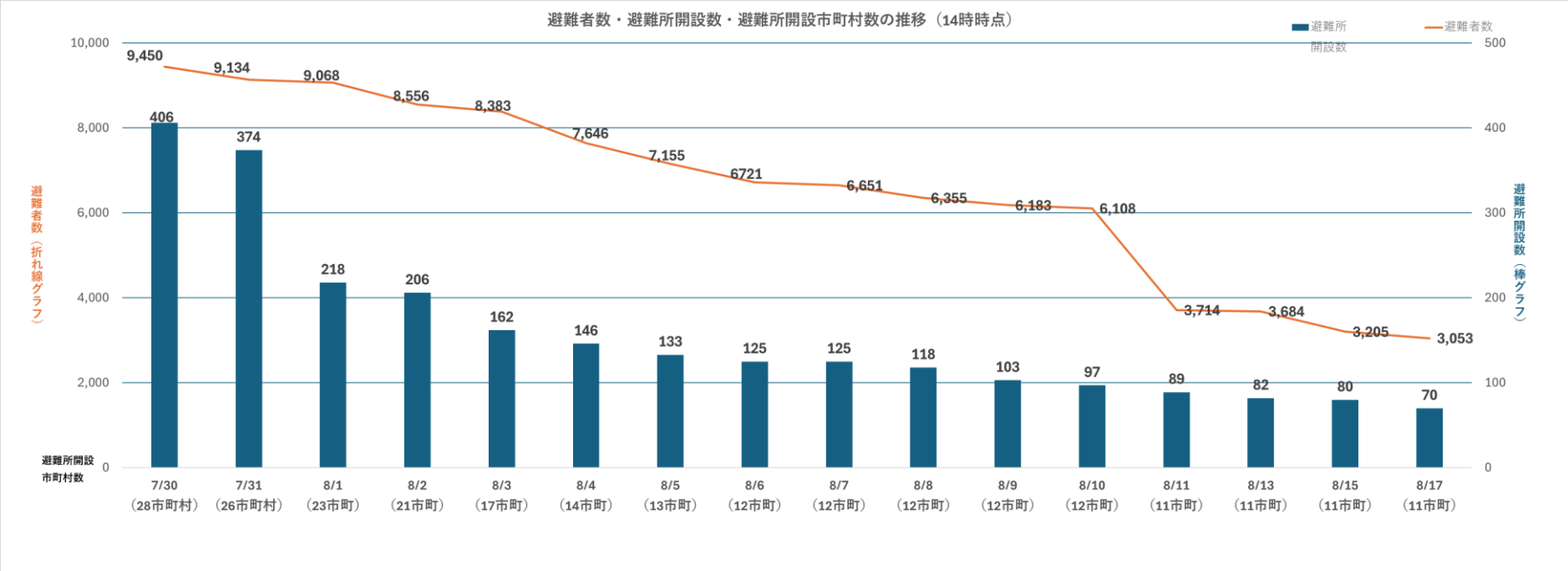
住家被害認定調査フロー図



令和8年熊本地震に係る
第17回政府非常災害現地対策本部会議
第24回熊本県災害対策本部会議

【知事公室 危機管理防災局】
R8.8.17（月）14:00時点

【避難に関する情報】 避難所開設数：**70か所**（11市町）、避難者数：**3,053名**（11市町）



【熱中症搬送件数の推移】 ※震度6強以上を観測した市町を管轄する各消防本部（局）

	7/21～27 平均	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4～10 平均	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
熊本市消防	12.1	9	16	10	15	12	11	16	3.4	4	4	2	7	<u>0</u>	<u>1</u>
八代消防	4.0	2	20	12	13	11	7	14	3.4	2	0	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
宇城消防	1.7	6	12	3	4	1	4	8	2.0	2	0	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
上益城消防	1.6	2	2	0	1	1	2	1	0.1	1	0	0	0	<u>1</u>	<u>0</u>
合計	19.4	19	50	25	33	25	24	39	9.0	9	4	4	9	<u>3</u>	<u>3</u>

寄附金・義援金の受入状況 (令和8年8月16日現在)

受入額 **85 億 6,680 万円**

【前回(8月14日現在)比: + 1 億 5,678 万円】

(内訳)

種 別	件 数	受入額
① ふるさとくまもと応援寄附金 ※ 個人、県内法人、県外法人 (10万円未満)	36,444 件	5 億 8,282 万円
② 企業版ふるさと納税 ※ 県外法人 (10万円以上)	243 件	11 億 8,233 万円
③ 義援金 ※ 募金箱で受け付けた分は含まない	—	68 億 165 万円

〔②企業版ふるさと納税のうち、企業名、金額とも公表可とされた1,000万円以上の寄附者〕

明治ホールディングス(株)、日本電気(株)、松野工業(株)、エックスサーバー(株)、伊藤忠商事(株)、西部電機(株)、
(株)マースエンジニアリング、(株)マースシステム西日本、(株)ニューギン販売、(株)アルゴグラフィックス、(株)益岡製作所、
TOPPANホールディングス(株)、(株)STARTO ENTERTAINMENT、富士フイルム(株)、(株)近代建築社、(株)ロキテクノ、
(株)ナスタ、(株)ムゲンエステート、(株)関西トラスト、TANAKEN(株)、栗原工業(株)、日本曹達(株)、東海興業(株)、
スタンレー電気(株)、(株)BIKEN、エア・ウォーター(株)、(株)市川組、(株)フェイスホールディングス、(株)フェイスグループ、
さわかみ投信(株)、(株)堀場エステック、(株)堀場製作所、**(株)アップフロントグループ**、**(株)寛容社**

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議 第 2 4 回災害対策本部会議

【総務部】

R8.8.17（月） 1 4 : 0 0 時点

被害状況

【県庁舎等の施設の被害状況】

	宇城総合庁舎	宇城保健所	八代総合庁舎
上水道	×（漏水修繕待ち）	×（漏水修繕待ち）	△（貯水槽点検中）
下水道	△（トイレ使用不可）	△（トイレ使用不可）	○

【私立学校の被害状況等】

（人的被害）

- ・ 2 2 校から生徒等の負傷等の報告あり。※うち学校管理下での負傷 4 校・ 1 7 名

（物的被害）

- ・ 学校 5 1 校（中高 1 8 校、専修学校・各種学校 3 3 校）
※学校再開に向けて、各学校の状況を確認中。

（全日制 中学・高校の 2 学期の開始見込み）

- ・ 八代地域：8/25 予定→1 週間遅れて 9/1 から開始（1 校）／ 8/31 予定→**予定どおり開始予定**（1 校）
- ・ 八代地域以外：8/24～9/1 の間、順次開始予定（27 校・8/7 調査時点）

現在及び今後の対応状況

【県税の減免等】

- ・ 各広域本部及び自動車税事務所に県税の減免・納税の猶予等に係る相談窓口を設置
- ・ 7 月 28 日以降に到来する県税の申告・納付等の期限を延長（対象地域：八代市、宇土市、宇城市、氷川町）

【災害対応車両の借用】

- ・ トヨタ自動車㈱の協力により、県・被災市町の災害対応車両として合計 117 台（予定）のレンタカーを無償で借用（1 か月間）。

第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議
第 2 4 回災害対策本部会議

R8.8.17 (月) 1 4 : 0 0 時点

現在及び今後の対応状況

【市町村への総括的な支援に係る県職員派遣】

・八代市、宇城市、宇土市、美里町、氷川町の 5 市町に職員を派遣中。

【市町村に対する人的支援】

・被災市町村に対する避難所支援等の人的支援ニーズに対し、対口支援及び県内自治体からの派遣を実施中。

本日8月17日現在、**922**人を派遣中（うち対口支援**741**人・県及び県内市町村職員**181**人）。※LO（情報連絡員）及び技術職除く

※そのほか、その他関係団体からの応援職員**54**人の派遣あり（総計**976**人）。（県及び総括支援チームの把握分のみ）

【8月17日の派遣状況】

（単位：人日）

派遣先 市町村	①避難所 支援	②罹災証明 受付・交付	③住家被害 認定調査	④災害 ごみ処理	⑤ その他	⑥ 保健師	計	派遣元団体（8/17派遣分）	累計 （7/29～）
熊本市	43	41	56				140	【対口支援】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、札幌市、横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市	2,345
八代市	149	8	44	4	10	2	217	【対口支援】福井県、大阪府、岡山県、山口県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県、京都市、北九州市 【県内調整分】熊本県、人吉市、水俣市、合志市、津奈木町	2,776
宇土市	10	13	12	15	2		52	【対口支援】滋賀県、京都府、徳島県、香川県、福岡県 【県内調整分】熊本県、菊池市、苓北町	663
宇城市	115	61	46	16	20	12	270	【対口支援】富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、兵庫県、奈良県、和歌山県、長崎県、宮崎県、堺市、福岡市 【県内調整分】熊本県、玉名市、山鹿市、上天草市、天草市、合志市、山都町	3,444
美里町		4	14		4		22	【対口支援】長崎県 【県内調整分】阿蘇市、大津町	397
御船町		5	10	7	4		26	【対口支援】宮城県、山形県、福島県、新潟県 【県内調整分】熊本県、荒尾市、山鹿市、産山村	138
嘉島町			11				11	【対口支援】北海道、青森県、岩手県、秋田県	216
甲佐町	2		7		4		13	【県内調整分】熊本県、高森町、山都町	112
氷川町	72	23	40		27	4	166	【対口支援】鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県、佐賀県、浜松市 【県内調整分】熊本県、玉名市、玉東町、和水町、南関町、長洲町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、錦町、あさぎり町、相良村、球磨村	2,256
芦北町				3	2		5	【県内調整分】多良木町、山江村	154
計	391	155	240	45	73	18	922		12,501

※対口支援団体からの応援職員は、原則として①～③の業務に従事
※県及び県内市町村、その他関係団体は、主に④～⑥の業務に従事するほか、①～③の業務にも従事

【市町村に対する人的支援（行政書士派遣）】

被災団体における罹災証明書の受付・発行等の迅速化及び行政職員の負担軽減を図るため、熊本県行政書士会から行政書士の派遣を実施。

8/4～ 宇土市、宇城市へ各 2 名 / 8/10～ 八代市へ 2 名 / **8/17～ 甲佐町へ 1 名、氷川町、益城町へ各 2 名**

また、同会において、8/14～「罹災証明書申請支援事業」の受付を**実施**。

令和 8 年熊本地震に係る

第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議

第 2 4 回災害対策本部会議

【企画振興部】

R8.8.17(月)14:00時点

交通機関の被害状況

○鉄道関係

●JR九州 ※詳細な被害は調査中

- ・九州新幹線：熊本駅～鹿児島中央駅間で、防音壁落下損傷等200カ所以上、レール破断2カ所、橋脚のズレ1カ所
- ・鹿児島本線：熊本駅～八代駅間で、架線断線1カ所、レール歪み5カ所、乗降場破損2カ所、電柱損傷多数、車両破損（パンタグラフ）2編成

●肥薩おれんじ鉄道 ※被害調査は継続中

- ・線路変状 八代～日奈久温泉間
- ・き電線断線 日奈久温泉～肥後二見間 他
- ・乗降場破損 八代駅、上田浦駅構内 他

肥薩おれんじ鉄道被害状況▶



○航空機関係

●熊本空港

- ・ターミナルビル及び貨物ビル：一部設備等に不具合があるものの、通常運用に支障なし

○バス関係

- ・九産交・産交バス：八代営業所は建物亀裂・アスファルト隆起により業務停止中。その他営業所建物に亀裂・ガラス割れ
- ・熊本バス・熊本電鉄：営業所の建物亀裂
- ・都市バス：営業所の天井・機材破損



○フェリー関係

- ・熊本フェリー：人道橋の先端と船体のハッチの一部が損傷

○タクシー関係

- ・熊本市、八代市、荒尾市、宇土市、上天草市、宇城市、人吉市、御船町及び益城町の38事業者39営業所における建物損壊、電気・水道・ガスの不通及び車両破損（県タクシー協会が調査中）

令和8年熊本地震に係る 第17回政府非常災害現地対策本部会議 第24回災害対策本部会議

交通機関の運行状況

○鉄道関係

＜JR九州：熊本エリア＞

- 九州新幹線(上下線) 熊本～新水俣：当面の間、運行取り止め（8月中の運行再開は困難な見込み）
- 鹿児島本線(上下線) 宇土～八代：当面の間、運行取り止め（8月中の運行再開は困難な見込み）

※ 8月19日から、通学時間帯を中心にJ R九州による宇土駅～小川駅間のバス代行が開始される予定

※ 8月26日から、宇土駅～八代駅間のバス代行の実施に向けて関係機関と調整中

＜肥薩おれんじ鉄道＞

- 八代～水俣間は復旧に時間を要するため、8月10日から代替バスを運行。

○バス関係

＜九州産交・産交バス＞

- 路線バス：八代・宇城・宇土エリアにおける八代～松橋線、八代～宮原線、宇土駅～松橋線、宇土駅～砥用線等11路線は運休

○クーリングシェルター

- 産交バス(株)・八代市と連携して、大型バス2台（男性用・女性用各1台）をクーリングシェルターとして、八代市の避難所に提供



クーリングシェルターバス（外観、車内）

今後の対応

【交通関係】 交通機関の復旧や代替輸送を支援するとともに、運行状況について、引き続き情報収集に取り組み、適時適切な情報発信に努め、被害の拡大と二次被害の発生防止に努める。

【デジタル】 ●民間企業等の支援により、被災者支援業務へのデジタルの活用を積極的に進め、迅速な被災者支援と、対応職員の業務量軽減を図っている。

＜事例＞ ・ホテル等避難者の健康観察 ・医療施設等災害復旧費補助金業務
・被災事業者再建支援補助金業務 ・義援金管理業務 など

- D-CERT派遣による県及び市町村への支援に向けた被災状況やニーズの把握。

被害状況、対応状況

【社会福祉施設、医療機関等における被害状況】

〈人的被害〉救護施設や医療機関等において、負傷者あり（骨折、軽傷ほか）

〈物的被害〉医療機関：265施設、薬局：142施設、高齢者施設：989施設、児童福祉施設等：489施設、障がい者福祉施設：362施設、救護施設：3施設、と畜場：2施設、県有施設：4施設

【被災地域における各種支援】

＜医療機関等における水の確保＞

○給水支援本部による調整のうえ、医療機関や社会福祉施設等へ給水中。



＜船舶「はくおうⅡ」を活用した支援＞

○医療及びこどもの居場所を提供中。



＜おくすり相談窓口＞

○熊本県薬剤師会が八代市総合体育館（避難所）において、「おくすり相談」を実施中（8/17まで）。



＜こどものこころのケア＞

○市町村の乳幼児健診で問診票を活用したフォローアップを実施。
○保健師や保育士等を対象とした「こどものこころのケア研修」を実施予定（第1回：8/27）。

＜医療機関の窓口負担等の免除＞

※災害救助法適用市町村のみ

○国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険等の加入者で、住家の全半壊等の被災をされた方は、窓口負担・利用料が免除。

＜在宅避難の要支援者の状態把握等＞

○介護支援専門員、相談支援専門員の職能団体が在宅避難の高齢者や障がい者等の個別訪問を実施中。



＜宿泊支援提供事業（ホテル等避難）＞

○熊本市・宇土市・宇城市・八代市・氷川町・甲佐町・美里町・御船町・嘉島町・益城町において実施中。

○「熊本県ホテル等避難者健康観察コールセンター」を開設（8/17）し、デジタル技術も活用した健康観察及び避難先への見回り訪問を開始。



＜入浴支援事業＞

○熊本市・天草市・上天草市・宇土市・宇城市・八代市・氷川町・水俣市・御船町・美里町・嘉島町・益城町・甲佐町・芦北町において実施中。



＜被災者生活再建支援金＞ ※県内全市町村

○被災者生活再建支援法の適用を決定し、準備が整った市町村から順次、申請窓口を開設。

＜緊急小口資金の特例貸付＞ ※災害救助法適用市町村のみ

○低所得者を対象とした緊急小口資金の特例措置として、対象を被災世帯に拡大し貸付を実施。8/19から市町村社会福祉協議会にて申請受付開始。

対応状況

【避難所の環境整備】 <福祉避難所> 4市町(5施設)で58人の要配慮者が避難中(熊本市2名、八代市12名、御船町3名、氷川町41名) ※家族を含む

<拠点避難所の整備>

○避難所での生活が長期化する方々に対して、健康状態の確認やきめ細かいケアなど、より適切に対応できる環境を整えるために、関係市町の意向を丁寧に向いながら、国と連携し、拠点避難所の整備を推進。

<各支援チームの動き>

○「熊本県保健医療福祉支援会議」の開催(7/31以降随時)
○DHEAT、DMAT、日赤救護班、日赤災害医療コーディネートチーム、JMAT、DPAT、災害支援ナース、県保健師対口支援、県外保健師等チーム、県内市町村保健師、JDA-DAT、JRAT、DWAT、DCAT、JDAT、DICT、FETP、災害薬事コーディネーター等が被災地の避難所等を訪問し、支援ニーズに応じて増強しながら活動中。

<感染症・食中毒対策>

○避難所の感染症予防・食中毒予防等のため、チラシやSNSによる啓発、消毒液の配布等を実施。



<歯科医療救護所の設置>

○宇城市の避難所(小川防災拠点センター)にJDATによる歯科診療車を設置(8/14~)



<洗濯環境の提供>

○県の要請を受け、避難所において移動式ランドリーカーによる洗濯・乾燥を実施
・WASHハウス(株): 8/13~、八代市立第二中学校
・山本運輸(株): 8/14~、宇城市小川防災拠点センター



<物資>

※県の物資集積拠点: グランメッセ(益城町)・(株)亀万重送倉庫(八代市)

○国からのプッシュ型支援により、スポットクーラー、電源車、水・食料等を受入れ後、避難所に順次発送。



<トイレ環境の充実>

○国と連携して、トイレカー(26台)や仮設トイレ(120台)など計296台を増設。



○関係団体(熊本県環境整備事業協同組合、協同組合熊本県環境技術協議会、熊本県環境保全協会、(公社)熊本県浄化槽協会)に清掃等の協力を要請。

<食事環境の充実等>

○栄養バランスの取れた弁当への移行等、食事環境の充実に関する留意事項を4市町(八代市、宇土市、宇城市、氷川町)に通知。



○(一社)日本キッチンカー経営審議会にキッチンカーによる食事提供の協力を要請し、避難所において適温食を提供中。

○JDA-DATが「特殊栄養食品ステーション:県栄養士会」を設置し、避難所等の食の要配慮者(アレルギーや嚥下困難等)対応食の提供支援を実施。

<ペット関係>

○ペット救護本部を設置し、ペットの一時預かりを開始。
(受付窓口: 熊本県獣医師会)

○ペットの健康相談会を実施。



令和8年熊本地震に係る 第17回政府非常災害現地対策本部会議 第24回災害対策本部会議

【健康福祉部】

R8.8.17 (月) 14:00時点

対応状況

【すまいの再建支援】 いずれも被災された市町村の窓口でお申し込みください

<応急仮設住宅の供与>

①建設型応急住宅

- 整備が決定した市町村
 熊本市 (3団地 計50戸)
 八代市 (3団地 計69戸)
 宇城市 (3団地 計50戸)
 美里町 (1団地 計12戸)
 氷川町 (4団地 計75戸)
- 県整備分 (氷川町：吉本仮設団地)
11団地 計206戸
- ※自宅敷地内への設置の推進、県内初の2階建て住宅の建設



②賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅）

- 家賃の上限額
 1人(単身)世帯：5.5万円 2人世帯：6.5万円 (賃貸アパート等)
 3人～4人世帯：9.5万円 5人以上世帯：13万円
 ※未就学児は人数に含めない。
 ただし、未就学児が2人以上の場合は、1人あたり0.5人として換算
- 災害救助法が適用されたすべての市町村で受付を開始
 ※罹災証明書の発行前でも、写真等により一見して「全壊」である旨が確認できる場合は申請可能（罹災証明書は事後提出）。



<住宅の応急修理>

①被害の拡大を防ぐための緊急の修理



対象となる住宅と世帯
 住家が「準半壊以上（相当）」の損傷を受け、放置すると被害拡大の恐れがある世帯が対象です。



対象となる修理箇所
 屋根、外壁、建具（窓・玄関）など、雨漏りや風雨の侵入を防ぐための必要な部分。



支援内容
 資材費（ブルーシート、ロープ、土のう）や、修理業者への労務費が含まれます。



<県からの要請によるブルーシート展張>
 実績(累計)：八代市 **116棟**、宇城市 **81棟**

②日常生活に必要な最小限度の部分の修理

- 対象となる修理箇所
 屋根等の基本部分、ドア等の開口部、上下水道等の配管・配線、トイレ等の衛生設備等
- 費用の上限額
 全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊 1世帯当たり757,000円
 準半壊 1世帯当たり367,000円
- 災害救助法が適用されたすべての市町村で受付を開始（上記①②）

※関係機関の災害等特別相談窓口

住宅金融支援機構：令和8年熊本地震により住宅に被害を受けられた方へのご返済、災害復興住宅融資等に関する相談窓口 ☎0120-086-353

※8/7～、応急仮設住宅の供与等すまい対策を加速させるため、健康福祉政策課内に専任の「すまい対策チーム」を設置し、人員体制を強化★
 ☎096-333-2184～2186 (+7人(計10人体制))

対応状況

【熱中症対策・エコノミークラス症候群予防・誤嚥性肺炎予防の啓発・注意喚起の取組み】

＜共通＞

- 県HPに掲載
- チラシの掲示・配布
 - ・避難所
 - ・ガソリンスタンド
 - ・給水スポット
 - ・コンビニ等



注意！ 車中泊をされている皆様へ
車中泊をされている方は、以下の対策を行いましょう。

1 熱中症の対策
めまい、手足のしびれ、こむら返り、頭痛、吐き気、だるさ、倦怠感等の症状は、熱中症の疑いがあります。特に返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い等の症状がある場合は救急車（119）を要請してください。

- 予防方法**
- ① こまめに水分・塩分を補給する（のどが渇く前に飲む）
 - ② 暑さ避ける
 - ・車内は日陰や風通しの良い場所に駐車する。
 - ・車内はエアコンや扇風機で温度管理する。
 - ・風通しの良い服を着用し、保冷剤などで体を冷やす
- ※ 乳幼児等車の中で一人にさせないようにしましょう。



2 エコノミークラス症候群の対策
長時間同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。足にできた血栓が肺に詰まり、胸痛、呼吸困難、失神等の症状が出現し、大変危険な状態となることもあります。

- 予防方法**
- ① 長時間同じ（特に車中中等の窮屈な）姿勢でいないようにする。
 - ② 足首を前後に動かす、足の指をこまめに動かす、または歩く。
 - ③ 適度な水分を取る。
 - ④ 時々深呼吸をする。

○予防のための足の運動



熊本県

注意！ 避難されている皆様へ！
避難生活では、暑とロトラブルやエコノミークラス症候群が発生しやすくなります。また、夏は熱中症のリスクも高まります。健康を維持するため、次の点に注意しましょう。

1 口腔ケアについて
避難生活では、ストレスや生活環境の変化により免疫力が低下し、口腔ケアも不十分になりがちです。お口の汚れは、むしろ歯周病はもちろん、特に高齢者では誤嚥性肺炎などの危険な疾患を引き起こす恐れがあります。

- 予防方法**
- ① 歯ブラシがないときは、ティッシュやガーゼで歯・歯ぐき・舌の汚れを拭き取り、口のやや清潔に保ちましょう。
 - ② 水がないときは、代わりに液体ハミガキや洗口液を使いましょう。
 - ③ 食後は水やお茶でうがいを行い、入れ歯は清潔に保ちましょう。
 - ④ こまめに水分補給を行い、頬やあごの下をマッサージして口の乾燥を防ぎましょう。

2 エコノミークラス症候群予防について
長時間同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。血栓が肺に詰まると、胸痛や呼吸困難を引き起こし、命に危険を及ぼします。

- 予防方法**
- ① 長時間同じ（特に車中中等の窮屈な）姿勢でいないようにする。
 - ② 足首を前後に動かす、足の指をこまめに動かす、または歩く。
 - ③ 適度な水分を取る。
 - ④ 時々深呼吸をする。

3 熱中症予防について
めまい、手足のしびれ、こむら返り、頭痛、吐き気、だるさ、倦怠感等の症状は、熱中症の疑いがあります。水分を自力で摂取できない、水分や塩分を補給しても症状がよくならない等の場合は、すみやかに医療機関を受診してください。特に呼びかけに応じない等の場合は、救急車（119）を要請してください。

- 予防方法**
- ① こまめに水分・塩分を補給する（のどが渇く前に飲む）
 - ② 暑さ避ける
 - ・日中の外出を控え、帽子や日傘を利用する
 - ・室内はエアコンや扇風機で温度管理する
 - ・風通しの良い服を着用し、保冷剤などで体を冷やす

真夏が暑くなった場合は、早めに医師等に相談しましょう。
連絡先：熊本県健康づくり推進課 096-333-2208

＜熱中症・エコノミークラス症候群対策＞

- メディアによる広報
 - ・県政テレビ（TKU）においてCM放映
 - ・県政ラジオ（NHK／RKK）で呼びかけ ※7/30～当面の間
- 県公式SNSによる注意喚起（X、Facebook、LINE、Instagram）
※知事自らのメッセージ動画掲載
- 市町村における防災無線による呼びかけの実施
- 保健医療活動支援者、警察等関係機関の協力による啓発活動



＜エコノミークラス症候群対策＞

- 保健医療活動支援者による弾性ストッキングを活用した避難所等における対策を実施

＜誤嚥性肺炎予防対策＞

- 口腔ケア啓発チラシの配布
- JDATチームが避難所を個別に訪問し、歯ブラシ・歯みがきシート等の配布を拡大し、歯科保健医療活動を実施

令和8年熊本地震に係る
第17回政府非常災害現地対策本部会議
第24回災害対策本部会議

R8.8.17（月）14：00時点

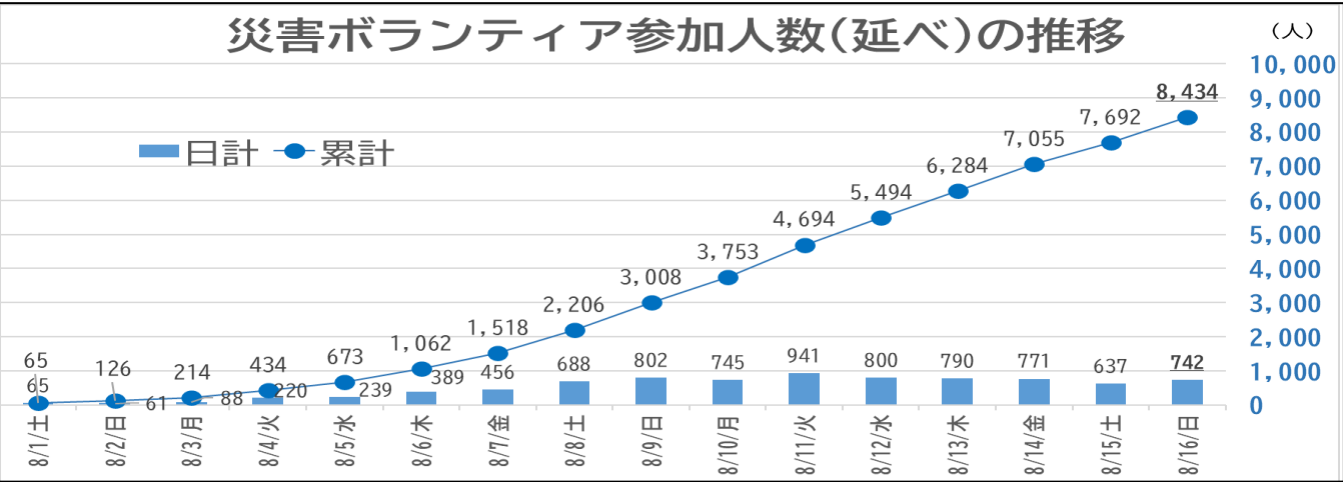
対応状況

【災害ボランティアセンター情報】

市町村名	設置日	募集 開始日	活動 開始日	累計参加人数 (延べ)
熊本市	8/3	8/4	8/5 ※協力団体は8/4	<u>779人</u>
八代市	8/3	8/6	8/10	<u>980人</u>
宇土市	8/1	8/1	8/3	<u>673人</u>
宇城市	8/1	8/1	8/2	<u>2,971人</u>
美里町	7/29	8/1	8/4	<u>514人</u>
御船町	7/31	8/1	8/1	<u>697人</u>

市町村名	設置日	募集 開始日	活動 開始日	累計参加人数 (延べ)
嘉島町	7/31	8/1	8/1	<u>226人</u>
益城町	8/1	8/1	8/1	<u>543人</u>
甲佐町	7/29	8/2	8/4	<u>266人</u>
氷川町	8/1	8/5	8/8	<u>543人</u>
芦北町	8/4	8/4	8/7	<u>242人</u>
計				<u>8,434人</u>

※芦北町は、災害ボランティア活動の収束の見通しが立ったため、8/17から通常ボランティアセンターに移行。
※上天草市、高森町、南阿蘇村、西原村、阿蘇市、菊陽町、大津町は、通常ボランティアセンターとして活動。



←募集内容の詳細は
熊本県HPを御確認ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

被害状況

被害状況

【人的被害】

○被害なし（入院患者、職員、委託職員）※非番職員についても安否確認済。

【建物被害】

○大きな損壊なし。屋根、緊急電源用発電機、給排水衛生設備、スプリンクラー等復旧必要。

○書棚、キャビネット、パソコン、テレビ等、転倒多数。コインランドリー、検査室機器一部故障。

※地震後停電（空調切れ）。20時に電気（空調）復旧。ボイラー・給湯一部故障。

※井戸水利用、地震後白濁が見られ、飲用停止。7/29（水）水質検査（7/30（木）結果：飲用可）

※入院患者には、7/28（火）夕方、7/29（水）朝は非常食提供。7/29（水）昼から給食再開。

※7/29（水）の外来は予約、緊急について対応。7/30（木）から通常診療。

デイケア等は、7/31（金）から再開。

今後の対応

- ・現在入院患者93名（発災後17名受入）。今後の患者受入について、現在の医療体制を踏まえ、当面の受入れ目安を110名程度とする。（関係機関連絡済）
- ・避難者受入れ要請があった場合、会議室提供可能。（職員配置困難）
- ・当院から災害支援ナース3名派遣（氷川町：8/3～6、8/12～15、8/25～28）。
- ・DPATに当院看護師2名登録（派遣日程については調整中）
- ・当院から県保健所への職員（管理栄養士）派遣（宇城保健所：1名 8/5、1名 8/6）

令和 8 年熊本地震に係る
第 17 回政府非常災害現地対策本部会議
第 24 回災害対策本部会議

被害状況

【水道の状況（断水）】

市町村名	宇城市	八代市	氷川町
断水戸数	約3,570 (▲530)	約2,470 (▲18,390)	約1,340 (▲150)

計 約7,380戸 (▲19,070)

(参考 1) 左記 3 市町で試験通水実施中
(参考 2) 宇城市、八代市等において災害用井戸等を活用中

○ 国土交通省をはじめとした関係機関の御支援により8月末を目途に解消（応急復旧）の見込み。

【廃棄物処理施設等の状況】

- ごみ処理関係：（焼却施設）全 15 施設通常稼働 （収集運搬）全市町村通常通り
- 仮置場関係：現在 11 市町で開設中（西原村は8/7で終了）
（宇土市、宇城市、美里町、御船町、嘉島町、甲佐町、芦北町、上天草市、益城町、八代市、氷川町）
- し尿処理施設関係：通常稼働 13、稼働不可 1（八代生活環境事務組合）→別施設で処理中

これまで・今後の対応

【水道関係】

- 水の安定供給のため、国交省の協力を得て「給水支援本部」を立上げ、情報集約を一元的に行う体制を構築。
緊急性の高い施設を抽出し、関係機関が連携して、応急給水を進めている。
- 被災した井戸使用者支援のため「井戸水対応チーム」を設置。国交省、八代市と連携し、現地調査に着手(8/13～)。

【災害廃棄物処理関係】

- 環境省の現地対策本部派遣チームと連携して災害廃棄物対策や避難所のトイレ環境改善を行うとともに被災市町村への技術的、人的支援を継続。また、他自治体からの応援職員とともに各種課題に対応。
- 被災市町村向けに災害廃棄物処理に係る補助金説明会を開催（8/10）するとともに、公費解体制度の被災者への周知や「被災者向け相談窓口」の設置を依頼（8/12）。環境省も自治体向けに補助金相談窓口を設置。
- 環境省・熊本県・熊本市が共同で「災害廃棄物支援調整本部」を立上げ、被災市町村の人的支援等を調整。
- 八代市及び氷川町において緊急公費解体を開始

令和 8 年熊本地震に係る

第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議

第 2 4 回災害対策本部会議

被害状況**【県有施設等】**

○グランメッセ熊本：

- ・ ABCホールを物資集積拠点として使用中（必要に応じてDホールも使用可能な状態）
- ・ 一般利用は当面休止（7/29～1か月程度）

【商工関連事業者等】

- 商工業関連 4,398件（被害額確認中含む）、被害額1,176億円（中堅・大企業含む）
 - ・ 八代商工会議所に、熊本商工会議所から応援派遣（8/4～）
 - ・ 被災した5商工会には、県連合会の支援のもと、他商工会より応援派遣（8/5～）
- 誘致企業 現時点で190社において建屋や設備等の被害を確認
- 地場企業 現時点で133社において建屋や設備等の被害を確認
8/5 県工業連合会8社から被害状況聞き取り及び意見交換を実施
- 発電施設 太陽光発電施設：被災7か所
バイオマス発電施設8施設（日本製紙ほか7件）が被災

今後の対応**【被災商工関連事業者等への支援】**

- 被災中小企業支援に向けて、御船町に加え八代市を「局激」（局地激甚災害）に指定見込み（8/12国発表）
- 県に特別相談窓口を設置。 商工振興金融課 096-333-2314／096-333-2326
8/14時点 相談件数45件（内訳：補助金26件、融資12件、その他（支援全般）7件）
地震に係る補助金の有無や、資金繰りに関する相談が寄せられている。
- 熊本県信用保証協会において、中小・小規模事業者向けの緊急時短期資金保証制度及び緊急時条件変更の取扱い中
- 被災企業調査・支援チームを設置（アグリシステム総合研究所内（八代市鏡町）に常駐）し、八代・氷川地域の被災企業を中心に3チーム6人体制で実態調査を開始。8/13時点100社訪問
- 熊本労働局と連携した取組みについて具体策の検討に着手（被災企業の支援、雇用調整助成金等）

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議 第 2 4 回災害対策本部会議

【観光文化部】

R8.8.17（月）14：00時点

現在及び今後の対応

【1 ホテル等避難】

- ・被災地に近い八代、水俣芦北、人吉球磨のホテルを中心に受入施設を掘り起こし、県内169施設を確保。

八代、水俣芦北、人吉球磨	その他県内	合計
27施設	142施設	169施設

- ・ 8月3日（月）13：30から避難所でチラシ設置により周知を行い、申請フォームから受付を開始。
 - ・ 8月**17日（月）**14：00時点 申込件数**1,227**件
（連絡済**1,220**件：マッチング済み件数**323**件**727**人 調整中**508**件 辞退**240**件 不通**149**件）
 - ・ 8月8日（土）13：00から専用コールセンターを開設。0120-325-327（9:30～17:30 ※土日祝も運営）
- ＜はくおうⅡ宿泊者（8月14日～16日の間）のうちホテル等避難申込状況＞**
- ・ **宿泊者数実績：96件217名（うちホテル等避難申込済14件、申込検討中29件）**

【2 はくおうⅡの受入】

- ・ はくおうⅡでの入浴・宿泊（2泊又は1泊）支援を引き続き実施中。
- ・ **次回（8月18日（火）～20日（木））の宿泊予約状況：79件165名 ※速報値**

【3 宿泊キャンセル調査】

- ・ 関係団体や市町村を通じて、県内宿泊施設のキャンセル状況調査を実施。
- ・ 8月10日（月）10：00で把握したキャンセル状況は以下及び右図のとおり。
＜調査結果概要＞（7/28～8/6受付分）
 - キャンセル人泊数： 約146,000人泊 ※暫定値
 - キャンセル額： 約20.6億円 ※暫定値※「キャンセル人泊数」又は「キャンセル額」いずれか一方しか回答がなかったものについても計上。

【4 宿泊施設の被害額】 ※商工労働部が報告した被害額の内数

- ・ 熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合の会員施設等を対象に調査を実施。
- ・ 宿泊業の被害は速報値で40.4億円（建物・設備等のハード被害のみ。キャンセル額は含まない。）

地域	キャンセル状況 (7/28～8/6)	
	人泊数	キャンセル額 (百万円)
熊本市	24,650	257
宇城	1,895	10
上益城	2,325	20
菊池	5,232	54
玉名	11,930	153
鹿本	7,112	111
阿蘇	51,137	788
八代	1,971	19
芦北	4,031	59
球磨	9,276	125
天草	26,911	465
合計	146,470	2,063

（※）表示単位未満を四捨五入しているため、地域ごとの合計は全体合計とは一致しない。

**令和 8 年熊本地震に係る
第17回政府非常災害現地対策本部会議
第24回災害対策本部会議**

【農林水産部】

R8.8.17（月） 14：00時点

被害状況

■ 令和8年熊本地震による農林水産業関連の被害額は、約 8 4 1 億円 ※本日時点の速報値であり、今後増加する見込み

- (1) 農畜産業

○農作物等（梨等） 3.7億円

○農業施設（機械、共同利用施設等） . . 182.0億円
- (2) 農地等

○田・畑、農業用施設、海岸保全施設 . . 608.4億円
- (3) 林業

○林地・林産施設等 7.1億円
- (4) 水産業

○海岸・漁港等 39.8億円

1. 農畜産業の被害

	概要	被害 面積等	被害金額 (千円)	地域
果樹	落果（梨、ブドウ）	89.5ha	364,702	八代、宇城、熊本、 菊池
工芸作物	乾燥不良（葉タバコ）	0.3t	611	宇城
畜産	家畜の死亡（採卵鶏）	320羽	352	菊池
	廃棄（生乳）	1.7t	209	菊池
農作物等被害額 計			365,874	
農業機械・施設	農業用機械（トラクター、田植え機、コンバイン、い草専用機械、米乾燥機、暖房機等）の故障、農舎、畜舎、農業用ハウスの倒壊・損壊	約2,500 件	18,200,206	八代、宇城、上益城、 熊本、芦北、天草、 阿蘇、菊池
共同利用施設	施設の損壊、施設設備の故障・破損	調査中	調査中	八代、宇城、上益城、 熊本、芦北、天草、 玉名、阿蘇、菊池
農業施設被害額 計			18,200,206	

- ・ 調査が完了したものから被害額等を計上している。
- ・ 右側地域欄は、現在調査中の地域も含めて記載している。

2. 農地・農業用施設の被害

	被害状況	被害 箇所数	被害金額 (千円)	地域
田・畑	法面崩れ等	4,691	5,011,431	八代、宇城、上益城、天草、 熊本、阿蘇、芦北、菊池
農業用施設	ため池、水路、道路、橋梁、排水機場の損傷等	8,908	53,474,392	八代、宇城、上益城、熊本、 天草、阿蘇、球磨、芦北、 菊池
海岸保全施設	堤防の亀裂や沈下等	150	2,355,600	八代、宇城、熊本
農地・農業用施設等被害額 計			60,841,423	

3. 林業の被害

	被害状況	被害 箇所数	被害金額 (千円)	地域
林道	法面崩壊、落石	105	128,750	上益城、天草、八代
林地	山腹崩壊、落石	6	428,500	球磨、上益城、天草、宇城、 阿蘇
林産施設	林産物加工施設、苗木生産施設等の損傷	27	155,585	八代、芦北、熊本、宇城、 上益城
林業被害額 計			712,835	

4. 水産業の被害

	被害状況	被害 箇所数	被害金額 (千円)	地域
海岸・漁港	浮桟橋の損傷、防波堤の損傷等	29	3,839,000	宇城、芦北、天草、八代、 熊本
共同利用施設等	荷さばき施設の損壊、漁協事務所の損壊等	25	5,897	八代、芦北、宇城、天草、 熊本、玉名
水産物・養殖施設	ニジマス等のへい死、養殖場の破損等	6	139,200	八代、熊本、宇城
水産業被害額 計			3,984,097	

令和 8 年熊本地震に係る 第17回政府非常災害現地対策本部会議 第24回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.8.17 (月) 14:00時点

主な被災箇所



↑浮栈橋の損傷
(赤瀬漁港 (宇土市))



←不知火中腹
基幹農道の亀裂
(宇城市)

J A 熊本経済連
第二園芸集送センターの損壊→
(宇城市)



梨の落果→
(氷川町)



↑幹線用水路の沈下
(氷川町)



不知火幹線水路の
崩壊 (八代市)



←花きハウスの
液状化 (八代市)



いぐさ製織作業場の倒壊→
(八代市)



↑イチゴ高設育苗の破損
(八代市)



令和 8 年熊本地震に係る 第17回政府非常災害現地対策本部会議 第24回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.8.17 (月) 14:00 時点

今後の対応

■被災箇所の応急的な復旧に着手

- ・ 不知火幹線水路(八代市)：8/6に国が応急復旧(試験通水)を実施。
- ・ 幹線用水路(氷川町)：8/7に県が応急復旧(通水試験)を実施。
- ・ トマトの定植やイチゴの育苗などに必要な用水を確保するため、7/30から農林水産省の応急ポンプ等による対応を実施。
- ・ 被災した農業用ため池、排水機場、基幹農道及び林道等の復旧に向け、応急対策や復旧方針等に係る検討を開始。

■プロジェクトチームの対応

- ・ 品目別対策PT(土地利用型作物、いぐさ、なし、イチゴ、トマト・ミニトマト、集出荷施設、土壌分析)を設置(8/3)。
⇒関係機関と連携して営農に係る課題や状況を記録・整理し、早期営農再開に向けた対応を検討。
- ⇒土壌分析PTでは、農業用地下水など計56点を分析中。現時点で塩分濃度が高かった9点について、代替用水の確保を調整中。
- ⇒**土地利用型作物PTでは、用水不足に伴う水稲の用途変更(主食用米⇒WCS用稲等)を支援するため、8/14に聞き取りを実施(氷川町)。**
- ・ 農業用施設の応急復旧対応等に係るPT活動を開始(8/3～)。
⇒排水機場PTでは、暫定稼働に向けた応急対応に着手。今後の台風や大潮等に備え、仮排水ポンプを8/7から順次17台設置し、**今後更に42台増強予定。8/17から樋管周辺の応急工事に着手。**
- ⇒未通水関係PTでは、農業用水の確保に向け、排水路や氷川の水を利用するためのポンプを8/6から順次80台設置(氷川町)。
- ⇒海岸保全PTでは、大潮の満潮時(8/14午前)に農地海岸堤防(延長29km)の緊急点検を実施し、堤防機能維持を確認。また、今後の台風等に備え、波返(パラペット)の亀裂箇所等に大型土のうを設置し、舗装損傷部にはブルーシート設置や**モルタル打設等の応急対策を実施中。**

不知火幹線水路
通水試験状況
(八代市)



被災直後



応急対応

幹線用水路の
試験通水状況
(氷川町)



被災直後



応急対応

豊川海岸
(宇城市)



被災直後
波返(パラペット)の亀裂



応急対応
大型土のうの設置

和鹿島海岸
(氷川町)



被災直後
舗装の損傷



応急対応
ブルーシートの設置

昭和第2
排水機場
(八代市)



被災直後
液状化の発生



応急対応
応急ポンプの設置



管理人操作説明

令和 8 年熊本地震に係る 第17回政府非常災害現地対策本部会議 第24回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.8.17 (月) 14:00 時点

今後の対応

■相談窓口の設置

- ・各広域本部(地域振興局)農業普及・振興課に「営農相談窓口」を、団体支援課(096-333-2371)に「金融相談窓口」を設置。
⇒8/7時点の営農相談件数は46件。農業用地下水の塩分分析、農業用施設や機械の再取得などの相談が寄せられている。
(関係機関の災害等特別相談窓口)

日本政策金融公庫熊本支店(農林水産事業) 096-353-3104

農林中央金庫熊本支店 096-353-1147

- ・農業保険の対応について、農林水産省から、振込期限の延長、共済金の迅速な支払い、収入保険に係るつなぎ融資の実施等に関する通知あり。

■農業革新支援センター情報の発出

- ・技術情報として「油流出防止対策」、「イチゴ苗対策」、「塩害対策」、「農薬容器破損対応」、「台風対策」、「水稻栽培における水管理」、「トマト苗の管理」、「農業用水利用時の留意点」の8情報を発出。

■農林水産省からの支援

- ・MAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)から県農地整備課にリエゾン派遣(7/28～、延べ**40**名)
- ・MAFF-SATから技術指導及び被害調査等支援のため農業土木技術職員派遣(宇城市・八代市・氷川町の被害調査7/30～、延べ266名／氷川町水路復旧支援8/3～、延べ**381**名)
- ・林野庁(九州森林管理局含む)からの派遣(7/29～、延べ**32**名)
- ・水産庁(九州漁業調整事務所含む)からの派遣(7/29～、延べ22名)
- ・ヘリによる林野関係被災状況調査を実施(7/30)
⇒被災状況の把握等を国と連携して対応

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議
第 2 4 回災害対策本部会議

【土木部】

R8.8.17（月） 14：00時点

被害状況

【公共土木施設の被害状況】

○県内の市町村を含む公共土木施設の被害は、8月6日時点で被害箇所数1,929箇所、被害額約922億円。

【通行止め情報】

＜県管理道路＞ ※これまで全面通行止め26箇所発生、そのうち23箇所解除

現時点の全面通行止め3路線3箇所

- ・三本松甲佐線（甲佐町）・御船甲佐線（御船町：メロディー橋）
- ・国道219号（八代市：新萩原橋）※緊急車両通行可能 ※8月下旬目途に解除見込み
- ・八代不知火線（八代市：横江大橋）※8/17午前7時から通行止めを解除（徐行通行）

＜直轄国道・高速道路＞

○南九州道（八代JCT～田浦IC） 全面通行止め

- ・八代南IC～田浦IC：8/18午前6時頃から一般車両通行可能となる見込み
※八代JCT～八代南ICでは、引き続き復旧作業に伴う通行止めを継続。

対応状況

【道路、河川、海岸、砂防施設、土砂災害、公園、下水道】

○道路の被災箇所について応急対策を実施中。（他施設は応急対策完了）

○被災箇所について災害査定に向けた調査等を実施中。

【河川】

○宇城・八代地域の水位周知河川7河川について、基準水位を引き下げて暫定運用中（8/7～）。

【港湾・空港】

○八代港：多くの支援船の円滑な受け入れと港湾機能の早期回復に向け、国土交通省による「管理代行」を実施中。

○八代港・三角港において、海上保安庁・自衛隊・国交省・水産庁等による、給水支援や入浴支援等が実施中。

○八代港の復旧に向けて、国交省主催の八代港被災施設復旧技術検討会（第1回 8/12）を開催し、復旧工法を検討中。

対応状況

【公営住宅】

- 県営住宅での被災者受入について、8/6から受付開始（29戸）。**8戸で受入決定。**
市町村営住宅では、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、天草市、和水町、西原村、山都町、多良木町で受付中。
八代市、宇土市、宇城市、南関町、長洲町、産山村、南阿蘇村、氷川町、津奈木町が準備中。
※熊本市は8/6から受付開始（59戸）。

【建築・盛土】

- 建築物応急危険度判定（熊本市、八代市、宇土市、宇城市、美里町、嘉島町、氷川町、芦北町）完了。
- 被災宅地危険度判定について、熊本市、宇城市、氷川町で実施中。
- 建設型応急住宅の整備状況 ※**八代市の8/18着工分については木造2階建て応急仮設住宅**

市町村名	団地数	整備戸数	着工日	入居予定日	備考
八代市	2団地 1団地	35戸 34戸	8月11日、8月18日（予定） 8月18日（予定）	10月上旬、10月中旬 10月中旬	追加用地協議中
宇城市	3団地	50戸	8月3日	9月下旬	追加用地協議中
美里町	1団地	12戸	8月9日	10月上旬	追加用地協議中
甲佐町	整備内容（配置計画、工事費等）協議中				
氷川町	4団地	75戸	8月3日、8月10日、8月13日	9月上旬～10月上旬	追加用地協議中



氷川町吉本団地（軽量鉄骨造・平屋）現場状況写真

※熊本市は、8月10日に3団地50戸の建設工事に着手

【その他】

- 県建設業協会、県鳶土工業連合会、県造園建設業協会、日本建設業連合会が連携し、宇城市、八代市の被災家屋にブルーシート展張を実施中。

【国土交通省等からの支援】

- TEC-FORCE等の派遣：**8月17日時点で延べ約3,800人・日（本日は6市町で活動中）**
- 災害対策用機械等の派遣（対策本部車：氷川町、給水車：八代市・宇城市、スターリンク：宇城市役所、美里町役場）
- 防災用コンテナ型トイレの派遣（美里町かとりパーク、小川町総合文化センター、氷川町伝承館、竜北グラウンド、八代市鏡支所、道の駅竜北）
- 日建連をはじめ建設業界団体からの避難所への物資等支援（飲料水、仮設簡易トイレ、土のう、ブルーシート等）

今後の対応

- 建設型応急住宅整備とともに、道路、河川・港湾・公園・下水道の本復旧に向けた調査に全力を挙げる。

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議 第 2 4 回災害対策本部会議

【教育委員会】

R8.8.17（月） 1 4 : 0 0 時点

被害状況

【人的被害】（熊本市分を含む） ※学校活動中の被害に関わらず人数を計上

- 学校 9 2 名（児童生徒 8 5 名 教職員 7 名）
- 社会教育施設 1 0 名（利用者 8 名 職員 2 名）

【物的被害】（熊本市分を含む）

- 学校 3 5 5 校（県立 6 1 校、市町村立 2 9 4 校） ※学校施設被害一覧は割愛
 - ・宇土中・宇土高：普通教室 9 室、特別教室 3 室が入る第 3 棟（3 F）の損傷が激しく使用不能
 - ・八代工業高校：校舎内ガラス破損多数 ・松橋西支援学校：地割れ、柱の割れ
 - ・熊本市立城西小学校：体育館金物落下 ・八代市立龍峯小学校：グラウンド地割れ、校舎損傷 ・甲佐町立乙女小学校：建物のひび・ずれ 等
- 学校関係施設 7 7 施設（県立 1 1 施設、市町村立 6 6 施設）
 - ・給食センター建物の壁にクラック 教職員住宅の瓦落下 等
- 文化財 2 4 6 施設（登録件数）
 - ・熊本城：石垣崩落 ・八代城跡：石垣崩落並びに石塔倒壊 ・人吉城跡：土砂崩れ ・松浜軒：損壊 等
- 社会教育施設 6 5 施設
 - ・豊野少年自然の家：ガラス割れ、水道管破裂
 - ・氷川町文化センター：柱のひび割れ、タイル・石積のズレ ・八代市立図書館：建物のひび・ずれ 等
- 社会体育施設 **8 4** 施設
 - ・熊本県陸上競技場：支柱土台破損、天井コンクリ片落下 ・藤崎台県営野球場：グラウンドにひび ・県営八代運動公園：陸上競技場の液状化
 - ・熊本甲佐総合運動公園：園路被災（噴砂） 等

【学校再開に向けて】

- 学校給食の確保
 - ・パン・牛乳：新学期から全県において確保できる見込み
 - ・調理関係：調理場については、学校給食の再開に向けた調査を実施
- 児童生徒・教職員の「心のケア」について
 - ・スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等も含めた支援体制整備に着手

【子どもの居場所・学習スペースの確保】

- 地震の影響で在籍校に通学できない小中高生のための学習（自習）スペースを近隣の県立高校に設置（8月17日から受付、8月18日以降順次開設）
- 国立、県立の青少年教育施設等が連携して、NPO法人等が設置した子どもの居場所に来ている子ども達に体験活動等を提供する取り組みを開始

【文化財復旧対応】

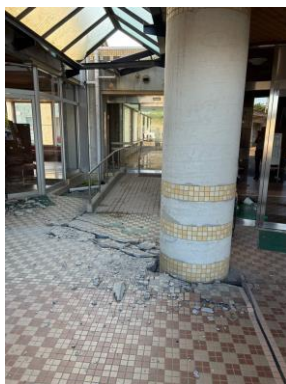
- 未指定文化財等の被害状況把握及び保護のため文化財レスキューを実施
 - ・国指定名勝「松浜軒」の解体部分から出てきた美術工芸品を避難させるための文化財レスキューを実施中
- 熊本城の被災状況について文化庁、国土交通省による現地確認を実施済
- 被災した歴史的建造物・土木構造物の被害状況の把握および保護のための文化財ドクター事業の発動について文化庁に要請（8/7）
- 被災文化財の復旧及び被災市町村との支援を円滑に進めるため文化財復旧チームを設置
 - 宇城市、八代市、氷川町を中心とした文化財被害状況について県による確認作業を実施中

今後の対応

- 市町教育委員会への学校支援チームの派遣状況
 - ・八代市：岡山県（8/4～）、**大阪府（8/17～）** ・宇城市：三重県（8/5～）、兵庫県（8/6～）
 - ・**宇土市：京都府（8/17～）** ・**美里町：埼玉県（8/17～）** ・氷川町：熊本県（7/31～） ・**甲佐町：熊本県（8/18～）**
- **危険度判定士（熊本市、福岡県、福岡市、北九州市からの派遣）による社会教育施設等の安全確認中（8/17～）**



宇土中学・高校（第3棟）



松橋西支援学校



八代市立龍峯小学校



甲佐町立乙女小学校

令和8年熊本地震に係る
第17回政府非常災害現地対策本部会議
第24回災害対策本部会議資料

【県警本部】

R8.8.17（月） 14：00時点

警察の対応

被災地の警戒・警ら

- 発災直後**から、熊本県警察の八代署、宇城署、御船署等が連携して**警戒・警ら**を実施
- 特別自動車警ら部隊（パトカー約60台）及び特別警備部隊（機動隊）の約340人が被災地の**警戒・警ら**を実施



特別警備部隊による警戒・警ら

防犯カメラの設置

- 被災地における犯罪抑止を目的として、避難所や避難者の多い地域の街頭等に**防犯カメラ約950台**を順次設置中



被災地への防犯カメラの設置

被災者への支援

- パトカーが警戒・警らを行う中で、**車中泊者への声かけ**も行い、**ペットボトル飲料水**や**熱中症対策チラシ**等を配布
- 被災者支援部隊の約110人が、**避難所等における相談対応・防犯指導、「ホテル等避難のご案内」チラシ等の配布、車中泊者への声かけや情報提供等の支援**を実施



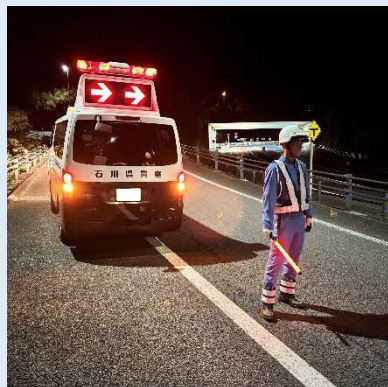
被災者支援部隊による活動

県外応援部隊及び関係機関と連携して、警戒・警ら等の警察活動を引き続き実施

警察の対応

交通対策

- 広域緊急援助隊（交通部
隊）が、南九州自動車道の
交通整理や被災地における
交通状況の把握等を実施
- 九州自動車道全線の交通
規制を解除
- 信号機の滅灯が解消



広域緊急援助隊による高速道路での活動

検挙対策

- 特別機動捜査部隊及び
県警の特別捜査隊が被災
地において**犯罪捜査**、**よ
う撃捜査**等を実施



特別捜査隊による警戒・警ら

情報発信

- 警察庁HP、X（旧Twitter）等
において、**活動状況や防犯情報**
を発信
- 以下**QRコード**から確認可能



警察庁X（旧Twitter）
のQRコード



熊本県警察本部犯罪抑止
対策室X（旧Twitter）
のQRコード



警察庁X（旧Twitter）による発信

救出・救助活動

- 熊本県警察と広域緊急
援助隊が一丸となり、警
察犬を活用するなどして、
被災地における**救出・救
助活動**を実施
- ヘリコプターによる被
災状況等の情報収集を実
施
- 67人を救助**



熊本県警察と広域緊急援助隊による救出活動

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議 第 2 4 回災害対策本部会議

被害状況**【県在住外国人関係】**

- ・ 人的被害 ○ 熊本県外国人サポートセンターに寄せられた被災情報は 2 件。
- ・ 情報の発信 ○ 外国人コミュニティに対し、通訳等の依頼先として外国人サポートセンターの連絡先を周知。
- 出入国在留管理庁の災害専用回線開設について各市町村に連絡。
- 熊本県外国人サポートセンターHPにおいて、災害のときにとる行動、相談先等を発信。

【旅券申請関係】

- 災害救助法適用市町村において、旅券発給手数料減免を開始（半壊以上の被災者が対象）。

【くまモン関係】

- くまモン隊、くまモンスクエア、くまモン利用許諾事務局 人的被害なし。
- くまモンスクエアについては、7月30日から営業を再開（くまモンステージは当面見送り）。施設の大きな被害はなく、共用通路壁の剥がれ、館内壁のひび割れを確認。

【県広報関係】

- 県庁ホームページ内に、地震に関する特設ページを開設し、災害対策本部会議資料や注意喚起（被災時の熱中症対策等）などを一括して掲載するとともに、県庁各種SNSにより情報を発信する。

今後の対応

- 外国人留学生や外国人コミュニティ等からの情報収集を継続。
- 大使館、領事館等からの問い合わせに対応。
- 外国人サポートセンターにより市町村と連携した外国人からの相談への対応を実施。
- 8月16日（日）からくまモン隊の活動を再開する。当面は、被災された方々に寄り添う活動を優先的に実施し、くまモンスクエアは8月21日（金）午後の定期ステージから、その他県内外でのイベント等については8月22日（土）からの出勤を予定。
- 令和 8 年熊本地震の被害等に対して行われる募金活動など、各種支援活動へのくまモンのイラスト利用については、7月29日から当面の間、現在公表している全てのイラストを届出制（許諾不要）とする特例措置を実施。

令和 8 年熊本地震に係る
第 17 回政府非常災害現地対策本部会議
第 24 回災害対策本部会議

【出納局】

R8.8.17（月） 14：00 時点

被害状況

＜債権者への支払について＞

- 指定金融機関（肥後銀行）に確認
 - ・ システムに支障はなく、債権者への支払について影響なし

＜財務会計システムの稼働状況について＞

- 本庁・出先機関に確認
 - ・ 本庁・出先機関共に財務会計システム支障なし

＜県内金融機関の状況＞

- ・ 肥後銀行、熊本銀行の一部の店舗が臨時休業

今後の対応

- 引き続き、指定金融機関等を通じ、各金融機関の状況を情報収集していく
- 引き続き、本庁・出先機関を通じ、財務会計システムの稼働状況について情報収集していく

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 7 回政府非常災害現地対策本部会議
第 2 4 回災害対策本部会議

R8.8.17（月）14:00時点

被害状況

○電気事業

- ・運転停止した笠振発電所及び緑川第三発電所が7月29日中に運転再開
- ・他の発電所及び幸野・船津ダムに異常なし

○工業用水道事業

- ・三工水（有明、八代※、苓北）の浄水場内設備に被害なし
※八代工水の浄水場敷地内に地盤沈下あり（給水等に影響なし）
- ・有明及び苓北の場外配管に被害なし
- ・八代の場外配管に漏水被害あり
- ・新規工水工事現場での被害なし

○有料駐車場事業

- ・県営駐車場は補強部材のコンクリート被膜にクラックあり

今後の対応

- ・八代工水の漏水被害について詳細調査及び対策工事